

- 昭和52年 6月20日印刷
- 昭和52年 8月1日発行
- 編集・発行者 竹島紀元
- 編集スタッフ

塚本雅啓／松尾定行／宮原正和
日比 彰／沖 勝則

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

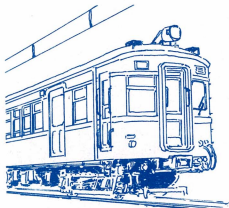
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820

●印刷所 凸版印刷株式会社



現在「電車王国」日本の中核である国鉄の電車約1万7千両のうち12%・2,027両を いわゆる旧型電車が占めている。総数には新幹線電車も含まれているので 在来線でみるとまだかなりの勢力である。これらの旧型電車の活躍舞台はほとんどが電化ローカル線か 幹線のローカル区間である。地方線軽視という声もあるが 性能面・運用面で大都市およびその周辺の使用に耐えないのが 最大の理由といえよう。安全性の向上とサービス改善からは一刻も早く淘汰することが望ましいが 鉄道車両としての基本的な機能は果たしているわけで 膨大な赤字をかかえる国鉄の現状からすれば必要最小限の近代化改造を加えつつ 今しばらく健闘してほしいものだ。国鉄電車の主力である高性能電車に対して「旧型電車」という言葉が使われ 80系「湘南形」や 70系「横須賀形」も 旧型の範疇に入っているが これらは戦後「電車列車」の思想のもとに生まれたもので 63形以前のいわゆる戦前派「省電」タイプとは本質的に異なる。今日の電化日本のバイオニアたちが一括「旧型電車」とみなされるところに「電化も遠くなりにはけり」の感をひとしお深めずにいられない。

1977-8 もくじ

- 7 レールウェイ・レビュー 東京駅再開発を考える
- 8 ニュース・ファイル (国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)

特集●旧型国電は生きている

- 15 身延線'77 菅沼清美
- 24 昭和史の旧型国電 編集部
- 40 旧型国電はなぜ消えてゆくのか 大熊孝夫
- 45 ツリカケのうなり ひときわ高く 松田清宏
- 49 資料・旧型国電の形式と番号を解説する 編集部
- 55 旧国快走! 全国版・旧型国電の走る路線 河合 篤
- ドキュメント★列車追跡①
- 74 旧型国電の宝庫 大糸線をゆく 種村直樹／常葉雅人

- レールウェイ・トピックス
- 82 京阪電鉄1000系がデビュー 山村定雄
- 83 装本芸術と汽車② 佐々木桔梗
- 89 韓国鉄道の旅(2) 渥見昇光
- 96 ディーゼル機関車とわたし② 高田隆雄
- 101 トップ・アングル
- 107 レールファン・ノートから②④ 病める先進鉄道 本島三良
- 119 車両とともに30年(8) 田邊幸夫
- 124 北海道鉄道記念館に展示されたC62・C55・C12 小熊米雄
- 126 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(38)イギリスの鉄道 山之内秀一郎

ブルー・トレイン

◆ワイドレンズ(108)◆新刊紹介(109)◆魚眼/ズームレンズ(110)◆マスコミと鉄道(111)◆タブレット(112)◆読者論壇(114)◆Q & A/鉄道友の会だより(115)◆車両基地(116)/◆R Jクイズ/鉄道記事ざっくばらん(117)◆次号のお知らせこちらジャーナル編集室/乗務員室(118)

表紙写真／飯田線を走る旧型国電

(榎原トンネル付近で)

'76-7-8 カメラ・山本忠史